



ナイトライフ - はしご酒

ホテルからリードブリッジを渡ってすぐのところに、バー、ナイトクラブ、音楽など、シンガポールで最も人気のあるナイトスポットがあります。生演奏のビートに合わせて踊ったり、景色を眺めながらお酒を飲んだりするのがお好きなら、クラークキーはシンガポールでお酒を楽しむたい人にとってぴったりの場所です。ここでは、いくつかの店舗をご紹介します。

- Barbary Coast Ballroom
- Zouk Singapore
- Crazy Elephant
- Cuba Libre Café & Bar

行き方

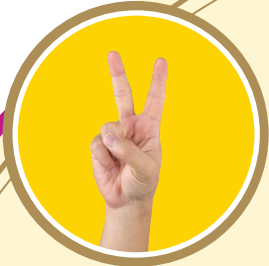


徒歩120m | クラークキー, Singapore 179023

豆知識:

クラークキーは、過去にゴードアウン(倉庫)や商業用の貨物の積み下ろしのための船場として機能していました。





シンガポール・リバークルーズ

ホテルから目と鼻の先にあるシンガポール川は、かつてバムポートが交易を重ねる商業の中心地として栄えていました。1987年以来、シンガポール・リバークルーズは、この街の過去の一面を保存し、旅行者にバムポートのレプリカに乗って現代のシンガポールを体験する機会を提供しています。かつては川沿いで物資を運んでいたポートが、今ではクラークキー、ポートキー、マリーナベイといった、象徴的な地区を通り抜けています。

徒歩300m | クラークキーJetty, Singapore 058282

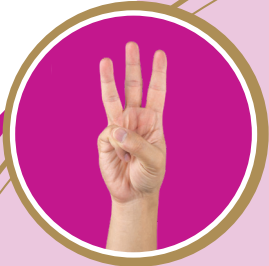
行き方



豆知識:

午後7時30分発のシンガポール・リバークルーズに乗って、マリーナベイ・サンズの美しい光と水のショーを、川沿いの絶好のロケーションから魅惑的な光景を垣間見ることができます。





オールドヒルストリート警察署

1934年に建てられたオールド・ヒル・ストリート警察署は、鮮やかな虹色の窓が特徴で、シンガポールの街中でひととき目立っています。かつては警察署でしたが、現在は官公庁の複合施設になっています。927枚のカラフルな窓は、街の中心部で歴史、美学、現代的な機能性を融合させた、個性的な建築における逸品となっています。

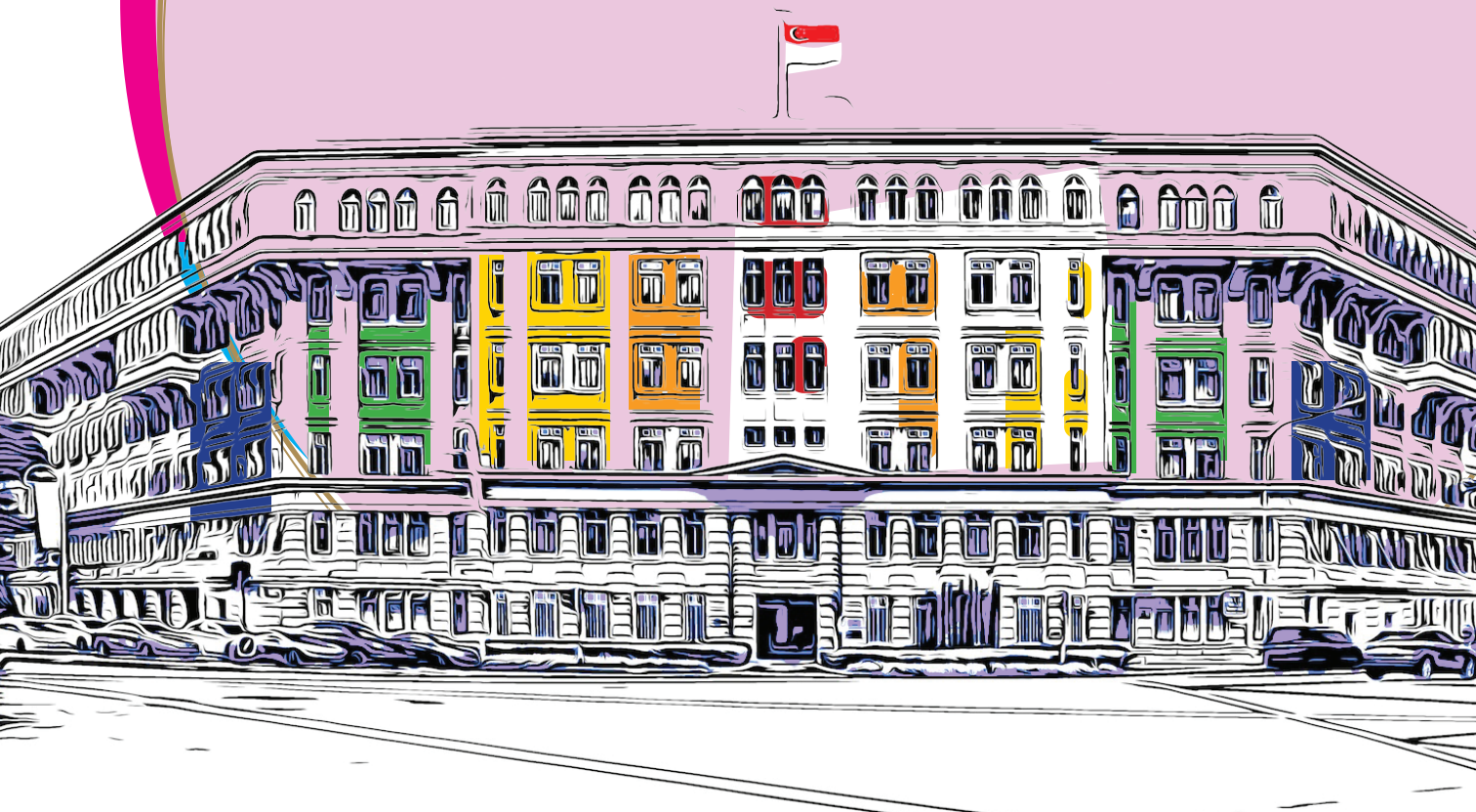
行き方



徒歩400m | 140 Hill St, Singapore 179369

豆知識:

インスタ映えもばっちりな場所です。





シンガポール・スリングショット

シンガポールの市内中心部では、最も賑やかなナイトスポットエリアであるクラークキーで、スリル満点の乗り物に乗ることほど爽快なことはありません。街で最新の過激ライド、スリングショットで心臓を飛び上がらせる体験をしたり、時速160kmで70m上空を飛ぶGX-5エクストリーム・スイングから自由落下しながら、ディナーやお飲み物をお楽しみください。

行き方



徒歩400m | 3E River Valley Road, Block E, Singapore 179024

豆知識:

70mは23階建ての高層ビルの高さとほぼ同じです。





フォート・カニング・パーク

禁断の丘に向かう前に、必ず筋肉のウォームアップをするようにしましょう。フォート・カニング・パーク(Fort Canning Park)からスタートし、入り口のゴシック様式の門をくぐり、かつて禁断の丘として知られていた丘の上の庭園への道を辿り始めます。イギリス時代以前は、島の古代マレー人の支配者が住んでいました。長い歴史の中で使用された、9ポンドの大砲や大きな砦の樹をご覧いただける良い機会です。

行き方



徒歩550m | Fort Canning Park

豆知識:

フォート・カニング・ヒルは、たくさんの人々が婚姻登録所で愛の誓いを立てる場所です。





アルカフ橋

アルカフ橋は、シンガポールにある絵のように美しい歩道橋で、著名なアルカフ家にちなんで名付けられました。ロバートソン埠頭でシンガポール川を渡るアルカフ橋は、2004年1月にフィリピン人アーティストのパシタ・アバドとロープの専門家チームによって、55色の鮮やかな色と900リットル以上の塗料を使用して塗装され、この橋をシンガポール初の「芸術の橋」に変貌させました。

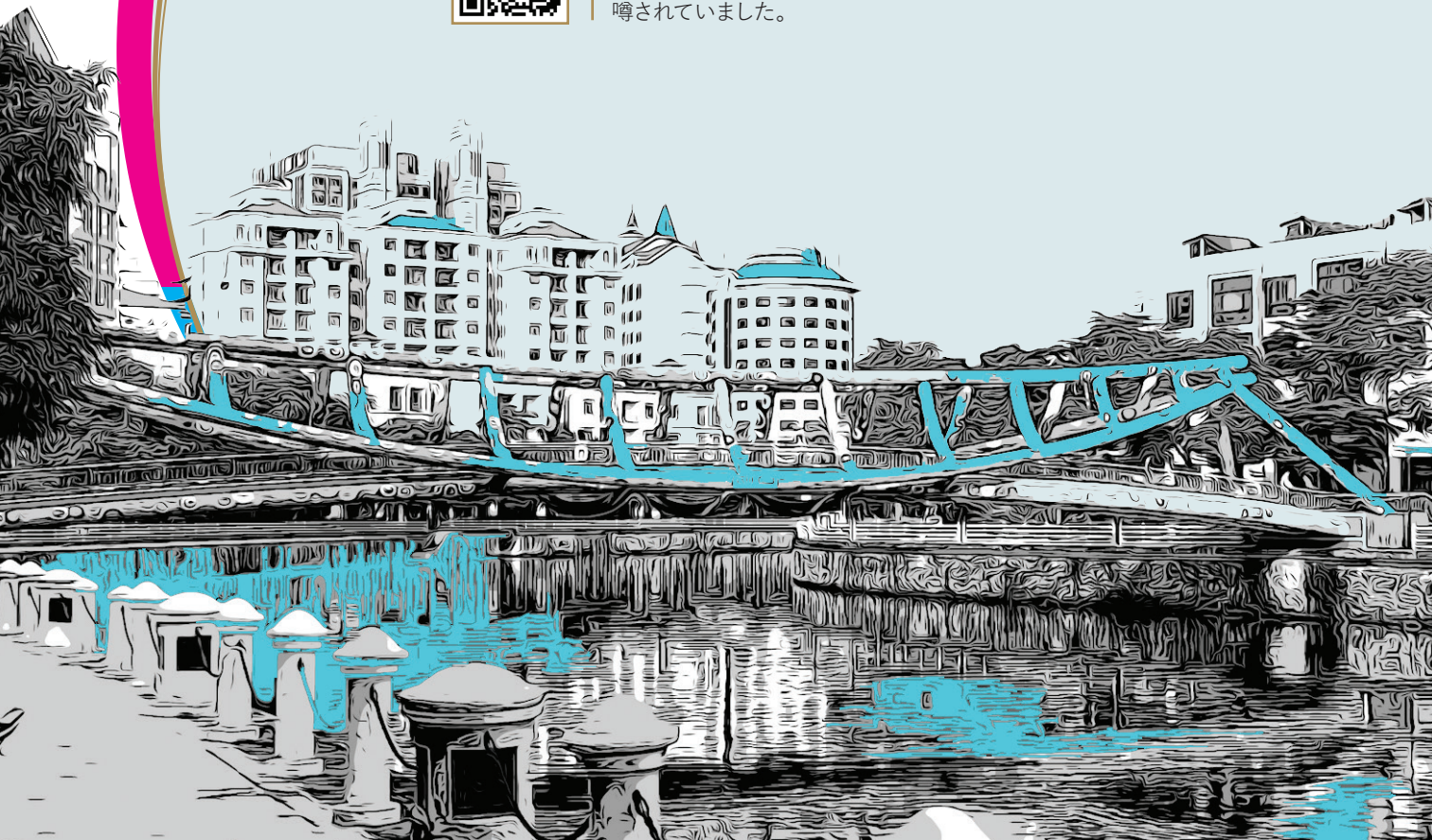
行き方



徒歩800m | Singapore River, Robertson Quay

豆知識:

第2次世界大戦中、スパイが隠密な待ち合わせにこの橋を使用したと噂されていました。





スタンフォード・ラッフルズ卿像

1819年にスタンフォード・ラッフルズ卿によって設立されたラッフルズ・ランディング・サイト(Raffles Landing Site)でシンガポールの歴史を発見してみてください。伝統と現代性のユニークな融合を形作る上で、極めて重要な役割を果たしたこの先見の明のある人物の遺産をご覧ください。シンガポールは、スタンフォード・ラッフルズ卿による影響が鮮やかなタペストリーに織り込まれています。

行き方



徒歩850m | North Bank, Singapore 179555

豆知識:

ここは、スタンフォード・ラッフルズ卿が1819年に初めて島に足を踏み入れたとされる場所です。





チャイナタウン・コンプレックス・フードセンター

近場でローカルフードをお探しですか?1983年に建てられたチャイナタウン・コンプレックス・フード・センター(Chinatown Complex Food Centre)は、250軒以上の屋台から選ぶことができる、多くの年配の世代にとってホーカーセンターの名所の1つです。醤油チキンライスや、野菜と肉がたっぷり入った地元の手作りポピアを、ぜひ一皿お召し上がりください。

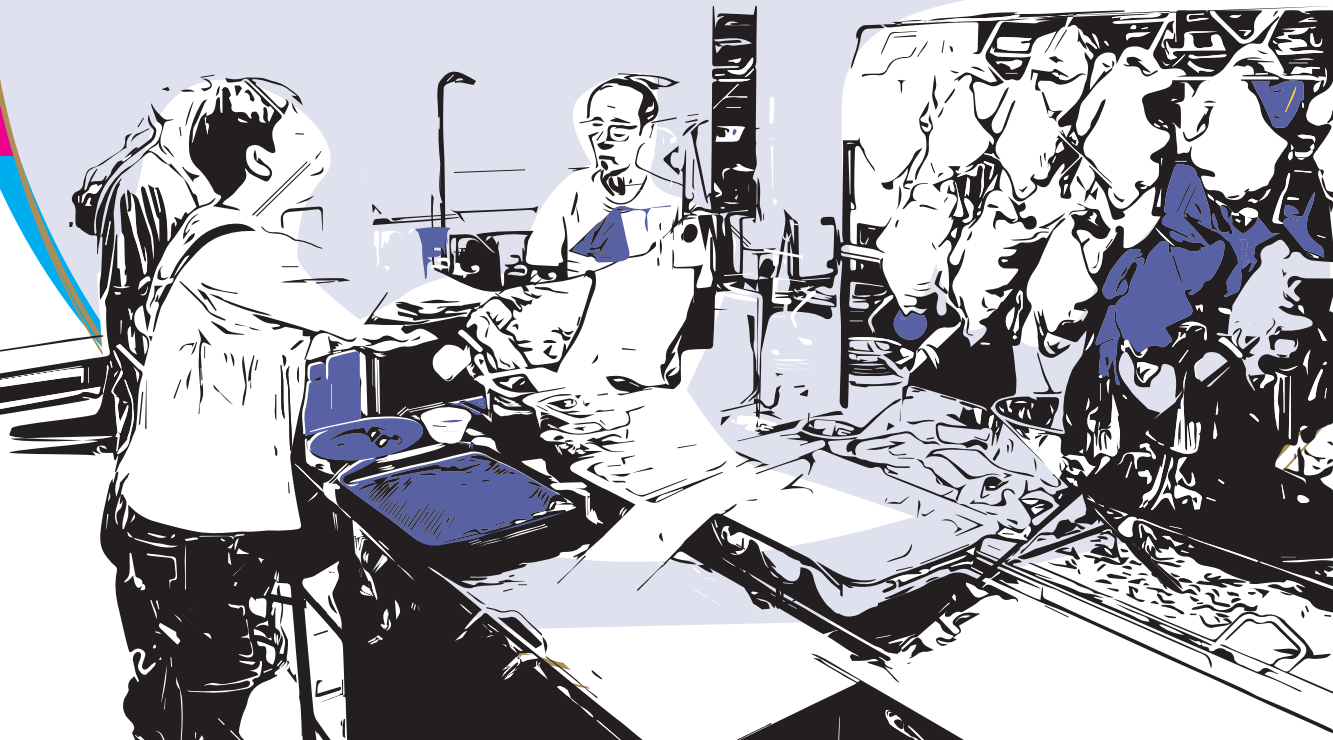
行き方



徒歩900m | 46 Smith St, Singapore 058956

豆知識:

チャイナタウン・コンプレックスには、1階に生鮮食品、衣料品、雑貨を販売する合計700軒の屋台があり、2階には調理済み食品があります。





チャイナタウン仏牙寺龍華院

歴史あるチャイナタウンは、伝統的なお店や、モダンなカフェやショップがあり、伝統と現代性が融合しています。ショップハウスを歩いていると、2007年に建てられたチャイナタウンの仏牙寺龍華院がふと目に入ってきます。

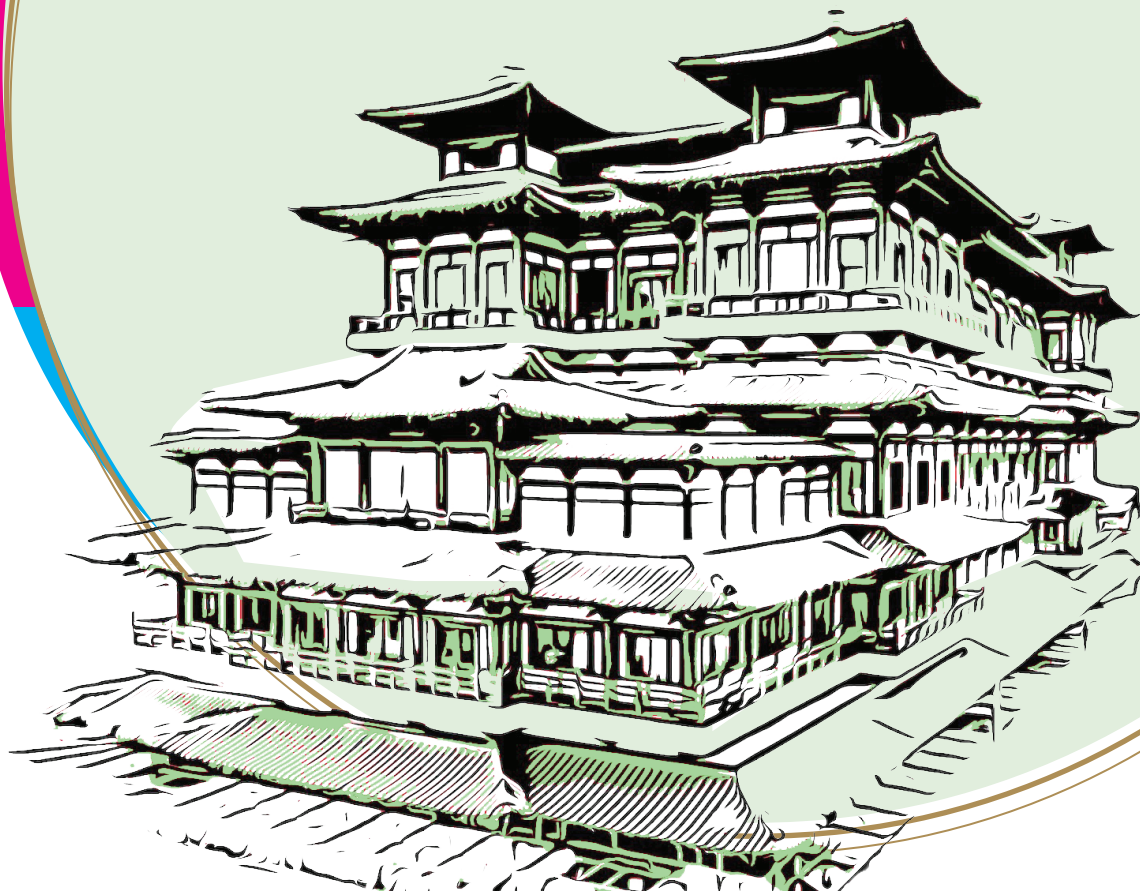
行き方



徒歩1km | 288 South Bridge Rd, Singapore 058840

豆知識:

仏牙寺龍華院は、320キログラム(大型バイクの重さ)の金で作られています。





アジア文明博物館

シンガポール川沿いに位置するアジア文明博物館は、アジアの豊かな芸術遺産を展示し、アジアと世界のさまざまな文化の歴史的なつながりを明らかにしています。この博物館は、過去2世紀にわたってシンガポールに定住してきた多様なコミュニティを探索する旅に訪問者を誘い、アジアの文化の最高の工芸品と美的伝統を代表したものとなっています。

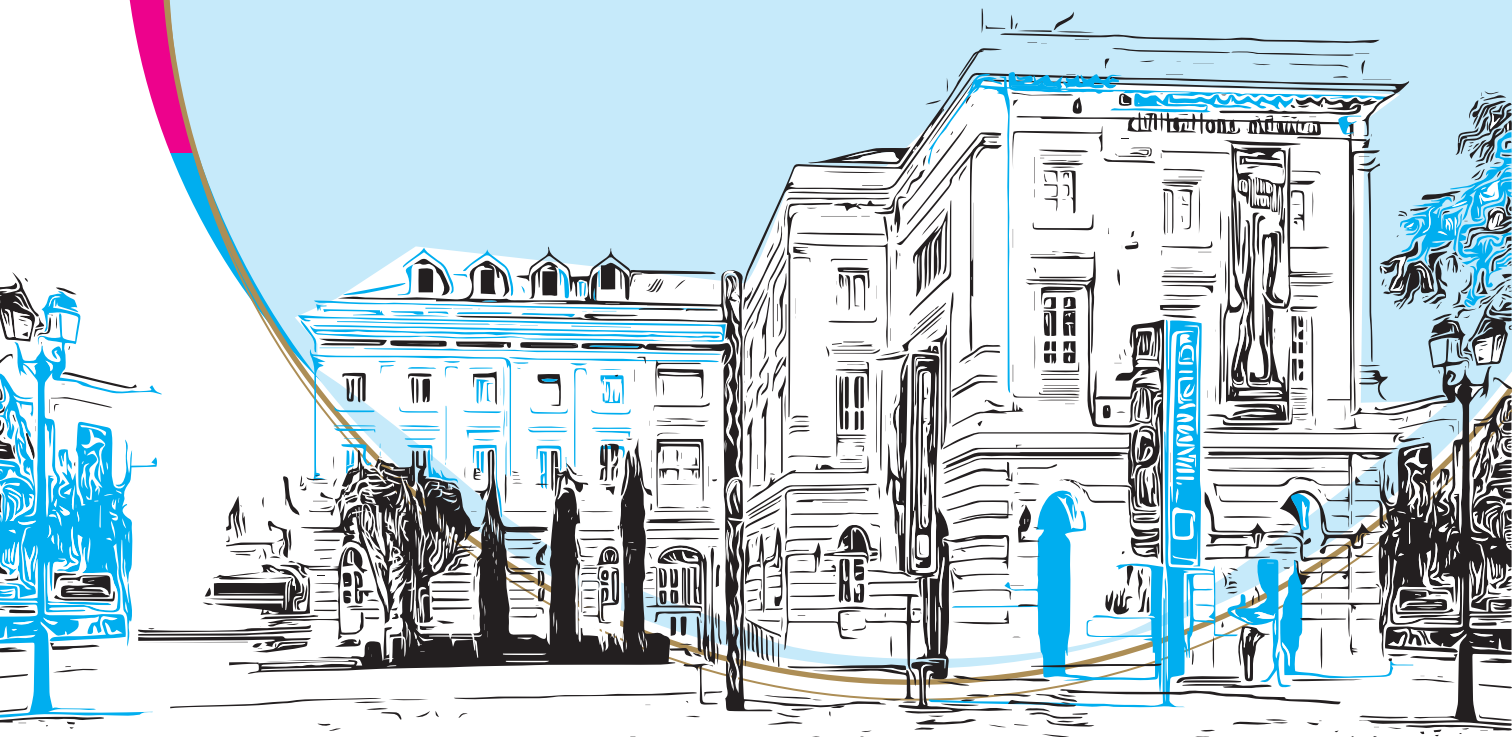
行き方



徒歩1km | 1 Empress Pl, Singapore 179555

豆知識:

アジア文明博物館は、1997年まで旧タオナン学校でした。



食通な5日間の探索を通じてシンガポールを満喫しよう

1日目

チャイナタウン・コンプレックス・フード・センター (Chinatown Complex Food Centre)では、香り高い海南チキンライスや手作りのポピアを味わいながら、シンガポールの屋台料理を堪能しましょう。その後、チャイナタウンの活気ある通りを歩き、地元の軽食を味わい、賑やかな雰囲気に浸りましょう。仏牙寺龍華院 (Buddha Tooth Relic Temple)を訪れ、心穏やかな時間を過ごした後は、パラドックス・シンガポール・マーチャント・コート・ホテルの向かいにある有名なハイ・ディ・ラオ(Hai Di Lao)で鍋料理をお楽しみください。

2日目

この都市国家には、高級レストランから素朴な屋台まで、さまざまなカテゴリーのさまざまなレストランで合計50個のミシュランの星が授与されています。この機会に、ミシュランの星を獲得した、徒歩わずか5分の場所にある、2016年以来各ポウルが風味豊かに楽しめるヒル・ストリート・タイファ・ポーク・ヌードル(Hill Street Tai Hwa Pork Noodle)を堪能しましょう。

3日目

アズミ・レストランで有名なリトル・インド・チャパティに舌鼓を打った後は、ムスタファのリトル・インドの活気に満ちたエネルギーに浸って、破格のお買い物を楽しみましょう。シンガポールの多文化のタペストリーの中に佇むリトル・インドは、この国の豊かな多様性を鮮やかに証明している存在と言えるでしょう。リトル・インドのすぐ近くにある、シンガポールで最も古いインド料理のベジタリアンレストランの1つであるアナンダ・バヴァンで、大きなバナナの葉に盛り付けられたシンガポールの多様な美食シーンの豊かな味わいを楽しみながら、食通の冒険を締めくくりましょう。

4日目

シンガポールの活気ある屋台文化に浸り、地元の人々や観光客が集まる共同テーブルでさまざまな料理を味わってください。定番のサテ串焼きから、アカエイのバーベキュー、風味豊かなエビ焼きそば、甘くておいしい白黒のキャロットケーキまで、ユニークなダイニング体験を提供しています。象徴的なラオバサや賑やかなニュートン・フードセンターなど、110以上の場所があり、シンガポールの街を探索する食通には必見のスポットです。

5日目

パラドックスシンガポールマーチャントコートでの滞在の締めくくりとして、クラシックなカヤトーストとコーヒーを楽しめるヤクンは、歩いてすぐの場所にあります。その後は、クラークキーのウォーターフロントを散策して、トレンド的なビストロを堪能したり、伝統的な海鮮料理を味わったり、ソムファで胡椒の効いたバクッテを試したりしてみましょう。シンガポール川沿いの活気ある雰囲気に浸りながら、景色と音を楽しみましょう。



シンガポールの芸術魂を発見する、**芸術愛好家**のための5日間の旅程

1日目

芸術と文化の形を通して、新たな視点で一日を始めましょう。ホテルにチェックインしたら、シンガポール川沿いを歩いて探索を始め、シンガポール・リバークルーズのバムポートツアーに参加したり、その長さに渡る歴史について探ってみてください。日が沈んだら、夜の地区での音楽を楽しんだり、川沿いのバーでドリンクを楽しんだりすることができます。

2日目

シンガポールの歴史と人々の文化についてもっと知ってみませんか？アジア文明博物館(Asian Civilisation Museum)では、展示品や工芸品を通して、シンガポールやその他の近隣諸国の豊かな遺産と文化について掘り下げています。その後、人々の目を引く、2019年に塗装されたばかりのアルカフ橋まで散歩しましょう。

3日目

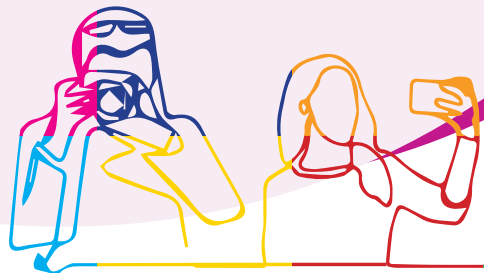
シンガポールで最も古い地区の1つであるカンボン・グラムでは、昔ながらの伝統と、トレンドなライフスタイルが融合しています。荘厳なスルタンモスクの黄金のドームを見ながら、賑やかな通りや屋台に沿って進んでいきましょう。伝統的な小売店とトレンドな小売店の両方に立ち寄り、お好みのエレガントなスカーフや、オーダーメイドの香水を見つけられたら、思い出として持ち帰るのはいかがでしょう。

4日目

パラドックス・シンガポール・マーチャント・コートから歩いてすぐのチャイナタウンでは、多くの飲食店やマーケットの角で芸術が息づいています。通り沿いの壁にある歴史と物語が、芸術を通して生き生きとしているのをご覧ください。インスタ映えする写真を撮りながら、シンガポールの黎明期の情景に思いを馳せましょう。シンガポールの郷土料理の屋台が250軒以上並び、チャイナタウン・コンプレックスで軽食をとるのもお忘れなく。

5日目

最後の日は、ロロン・ブアンコックとして知られるシンガポール最後のカンボンへのツアーに参加して、有意義な一日にしましょう。26世帯のみがこのカンボンに住んでいます。カンボンは個人所有なので、ガイドと一緒にいらっしやることをお勧めいたします。ガイドツアーでは、住民と会話して、シンガポールの過去について学ぶことができる機会があります。カンボンのライフスタイルから、現在HDBとして知られるようになったシンガポールの人々の物語を学びましょう。



アドレナリン中毒者のための、シンガポールのスリル満点の体験づくしの5日間ガイド

1日目

パラドックス・シンガポール・マーチャント・コートにチェックインしたら、クラークキーを訪れてアドレナリンを放出しよう。GX-5エクストリーム・スイングとして知られる、スリングショットのスリル満点のライド体験をして、冒険のダイナミックなスタートを切りましょう。その後は、賑やかなシンガポール川沿いで活気あるナイトライフやダイニングシーンを探索し、アドレナリン全開のさまざまなアクティビティやグルメを満喫してください。

2日目

セントーサ島はスリルを求める人の天国であり、アドレナリン中毒者を満足させる、スリル満点のアクティビティを幅広く提供しています。メガ・アドベンチャー・パーク(Mega Adventure Park)のジップラインで空中へ舞い上がったり、スカイライン・リュージュ(Skyline Luge)で曲がりくねった道を下ったりしましょう。アドベンチャー・コース・ウォーターパークに飛び込んでシンガポールの猛暑から逃れたり、AJハケット・セントーサ・ジャイアント・スイングで思い切った体験もお楽しみいただけます。

3日目

朝のフェリーに乗って島への旅に出ます - ウビン島でサイクリング、ハイキング、カヤックをしたり、野生動物を見つけることができる冒険に出かけましょう。シンガポールの自然の美しさに浸ることができる、自然での休暇です。チェック・ジャワ湿地やプアカ・ヒル(Puka Hill)は、徒歩または自転車で行くのもお忘れなく。新鮮な海鮮料理で有名なレストランの1つに立ち寄って、島での冒険のフィナーレとしましょう。

4日目

トレッキングシューズを履き日焼け止めを塗って、シンガポールの隠れたトレイルを探索する一日を過ごしましょう。都会の喧騒から逃れて、スゲイ・ブローのマングローブから神秘的なシア・イム・バンカーまで、自然や湿地帯を探索してください。バンカーの興味深い歴史に身を投じてみたり、マウントフェーバーで最も高いハイキングコースに挑戦したりして、ワイルドな体験をお楽しみください。歴史の謎に惹かれる人も、アドレナリンを刺激する冒険に惹かれる人でも、シンガポールの隠れたトレイルはあらゆる場所でドキドキの体験を約束してくれるでしょう。

5日目

シンガポール旅行の締めくくりとして、没入型のチャレンジや心揺さぶるパズルが待っている、エスケープ・シンガポール(Xcape Singapore)などのシンガポールの活気ある脱出ゲームシーンを体験してみませんか。謎を解き、秘密を解き明かすために時間との戦いでアドレナリンを刺激する体験への準備をしてください。歴史的な出来事からインスピレーションを得たテーマの部屋から、近未来的なSF設定の部屋まで、さまざまな脱出ルームがあり、それぞれにユニークなチャレンジが用意されています。



必須の旅行ヒント



天気

シンガポールは気温 25～33℃ の熱帯気候で、いつでも街を探索するのに最適です。ただ突然の大雨に備えて傘を携帯しておきましょう。



安全な飲み水

シンガポールの水道水は世界保健機関(WHO)の基準によって安全できれいなため、安心して蛇口から直接水を飲むことができます。風景やアトラクションをお楽しみの間、お手軽に水分補給を行いましょう。



言語

英語が広く話され、散策に困ることはありません。中国語、マレー語、タミル語やユニークな英語と方言の組み合わせであるシングリッシュも耳にすることがあるでしょう。



電源ソケット

シンガポールの電源ソケットは3本角プラグの交流 220～240 ボルトを使用します。お使いの機器を充電しておくために、対応するアダプターを必ずご用意ください。



喫煙エリア

喫煙エリアはシンガポール全土で明確に表示され、指定されていますが、公共交通機関、ショッピングモール、レストラン、および建物入口から5メートル以内などの場所では禁止されています。罰金を避け、ご滞在を楽しむため、必ず指定場所にいることをご確認ください。



緊急電話番号

シンガポールでの緊急時において、警察は999、救急車は995、そして飛行情報は 1800-542-4422 をダイヤルしてください。もしものために備えてこれらの番号を控えておいてください。



一般の飲食店

ホーカーセンター、フードコート、およびコーヒーショップで飲食用トレイやゴミをテーブルに残すのは違反です。これらの場所を清潔に保ち、皆さんが気持ちよく使用できるよう、トレイおよび食器類は指定の返却口に返却してください。



チップの習慣

チップの習慣は通例または必要ではありませんが、良いサービスに対する感謝の気持ちを表したい場合、それを行うことは歓迎されます。



公共交通機関の利便性

シンガポールにおける MRT および路線バスは車いすで乗車でき、皆さんが円滑に旅行できるようになっています。援助が必要でしたら、お気軽に鉄道職員またはバス運転手に助けを求めてください。



タクシーおよびプライベートハイヤー

タクシー料金はメーターで計算され、時機および経路に従う追加料金により異なる場合があります。随時運転手と追加料金についてご確認できます。便利に移動するため、代わりに Grab、Gojek、および TADA などのタクシー配車アプリもご利用できます。

PARADOX

SINGAPORE

MERCHANT COURT

20 Merchant Road | Singapore 058281

T: +65 6337 2288 | F: +65 6334 0606 | paradoxhotels.com/singapore



@ParadoxMerchantCourt